

こんなお話 ないかな

小学校2年生

↓ アクティビティーについて

ねらい

子どもたちが描かれている絵を見て「お話づくり」をする学習活動を通して、他者の気持ちを想像したり、その立場に立って考えたりできるようにする。そして、一人一人がかけがえない大事な人間であることを知り、自分自身や友だちを大切にしようとする態度を育てる。

◆◆◆視点◆◆◆

- ◎人間の尊厳・価値の尊重
- 自己尊重の感情
- 共感と連帯感
- コミュニケーション能力

設定の理由

この発達段階の児童は、友だちや家族の人たちと関わり合いながら生活することを通して、さまざまな人々に大切にされ、支えられていることに気づいてきているが、誰もが大切な人間であり、互いに気持ちや立場を大事にし合うことが必要であることを十分に分かっているとはいえない。

そこで、絵に描かれている子どもたちの気持ちや考えを想像して「お話づくり」をする活動に取り組みさせることで、誰もがかけがえない存在であることを感知させ、互いに人間として尊重し合う態度を育てたい。

アクティビティーの概要 (2時間扱い)

活動1 お話をつくろう。 1時間
 ・一人の泣いている子どもと、その周りにはいる子どもたちの絵から、その状況や立場を想像してお話をつくる。



活動2 気持ちを考えよう。(話し合い・ふり返り) 1時間
 ・グループや学級のみなでつくった話を発表し合い、生活の中にもいろいろなできごとがあることに気づき、自分たちの行動や態度をふり返る。

アクティビティーの実際

□ 準備するもの

- ・ 1枚の絵「一人の泣いている子どもと周りを囲む子どもの絵」
- ・ お話づくりカード

□ アクティビティーの進め方

活動1 お話づくり

- ① 絵をみて、一人一人がお話をつくることができるように場面の状況や友だちの表情に注目させ、自分なりのお話を考えさせる。
- ② 考えたお話をワークシートに記入させる。
- ③ グループ内で、お話の発表をさせる。

<ふり返りの留意点と発問例>

- お話をつくったときの気持ちを考えることによって、それぞれいろいろな思いや感情があることに気づくように支援しながら、ワークシートに記入させる。

発問例

絵を見て、どんなことに気づきましたか。

発問例

気づいたこと、思ったことをお話に書いてみましょう。

活動2 「気持ちを考えよう」 (話し合い・ふり返り)

- ① 絵をみてつくった話を発表し合い、生活の中もいろいろなできごとがあることに気づかせる。
- ② 自分の行動をふり返らせ、今後の友だちとの関係について話し合わせる。
- ③ 気づいたことをふり返り、ワークシートに記入させる。

<ふり返りの留意点と発問例>

- それぞれの友だちの気持ちを考え、思いを大切に生活していくとよいことに気づくようにする。

発問例

お話をつくったときに、もし、自分がこの立場にいたら、どんな気持ちになりましたか。

発問例

これから友だちとどのように生活していきたいですか。

アクティビティを指導するポイント

- ◇ 子どもたちが「お話づくり」をすることによって、自分たちの生活や自分自身をふり返ることができるよう、身近なできごとを課題にしていく。
- ◇ お話を発表させ、全員で同じできごとを共有し、ふり返りの話し合いを深める。
- ◇ 自分の生活と関連づけて考え、学んだことを生活に生かせるようにする。
- ◇ 児童の実態に応じて、実際のできごとと重なることも考えられるので配慮したい。

Ⅱ 授業展開例

～小学校2学年「生活科」における授業展開例～

| 時 | 学 習 活 動 | 教師の働きかけ |
|---|---|---|
| 1 | <p>1 「何しているのかな?!」 (絵)を見て気づいたことを出し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・泣いている子をはげましている ・けんかしている理由を聞いている ・じっと見ている ・関係ない顔をしている ・困ったような顔をしている ・いじめがあるのかな </div> | <p>○「1枚の絵があります。この絵を見て、いろいろ気づいたことがありますか。」と発問し、お話づくりに取り組めるようにする。</p> <p>○集団の絵を見て、その状況や立場に立った人の心情や思いを想像し、お話がつけられるよう支援する。</p> <p>○泣いている本人だけでなく、周りの人にも注目させ、想像させるようにする。</p> |
| | <p>絵を見て、お話をつくりましょう</p> | |
| | <p>2 絵を見てお話をつくる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・泣いている子の話 ・もめている子の話 ・二人とけんかをして泣いている話 ・無視している 等 </div> | <p>○自分の感じたことや想像したことを素直に表現できるよう自由に発言できる雰囲気大切にす。</p> <p>○自分の生活をふり返り、お話をつくったときの気持ちが言えるように記録する。</p> |

| | | |
|---|--|---|
| | <p>3 グループ内でお話を発表し合う。</p> | <p>○友だちの考えたお話に共感し、聞くよう伝える。</p> |
| 1 | <p>1 お話を発表しよう。</p> <p>2 お話の登場人物の気持ちについて考えよう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの中にも同じことがあった ・自分だったら〇〇の立場にいる ・無視している ・どうして止めないんだろう </div> <p>3 ワークシートに書く。</p> | <p>○グループ内でつくったお話の1～2点を代表者により発表させる。その絵を見たときの気持ちも言えるよう促す。</p> <p>○自分の行動についてもふり返りができるようにする。</p> <p>○お話から実生活へ思いをはせ、身の回りにある経験を想起させるようにする。</p> <p>○いじめている児童の背景にあるつらさ等にも思いをはせるよう促す。</p> <p>○仲間のつらい思いを出した児童に対しては、きちんと気持ちを返すように配慮する。</p> <p>○友だちの話を聞いたり、励ましたりして、子どもたちの気持ちを分かろうとする。</p> <p>○自分のふり返りをシートに記入する。</p> |

Ⅲ 資料

(1) お話づくりカード

こんなお話 ないかな

2年__組 名前_____

5人の子どもたちがいます。どんなお話でしょう。そうぞうしてみましよう。



☆わたしのつくったお話

わたしは、友だちから「きょうは、いっしょにあそべないよ。」といわれました。あさは、「いっしょにあそべるよ。」と、いていたのに、どうしたのだろうとおもいました。わたしは、とてもかなしくなりました。

すると、なかのよい友だちが声をかけてくれました。「どうしたの。何があったの。」といわれたとき、なみだがこぼれてしまいました。すると…

☆ (B) さんの気持ち

ないているAさんを見ると、Bさんは、「わたしもこのようなことがあったな」と思ったのでしょうか。みんなたいせつな人だから、あいてのきもちを考えて、話しかけたのだとおもいます。Bさんは、Aさんのことをほうっておけなかったのです。…

(2) ふり返りカード

「こんなお話 ないかな」のがくしゅう

2年 ___ 組 名前 _____

☆お話をつくったとき、どんな気持ちになりましたか。

☆つくったお話をきいてみて、どんな気持ちになりましたか。

() さんの気持ち

☆これから友だちと、どのように生活していきたいですか。